

令和5年6月定例会 あいさつ

皆さまおはようございます。本日ここに、久山町議会6月定例会を招集いたしましたところ、議員全員の皆さまのご出席を賜り、誠にありがとうございます。

町内では田植えも始まり、緑一色の稲田が広がる風景は、人々の心を和ませ久山町を象徴する風景の一つでもあります。また、町内の川では、蛍が飛び交う姿を見ることができます。

「今年は例年より多くの蛍が飛んでいる」と町民の方々からお声をいただき、私も見に行ってみました。小さく光る無数の明かりに包まれながら、久山町の自然の豊かさを感じるとともに、山や川、そして水田など、当たり前にある光景の尊さ・大切さを実感し、次世代にもつないでいく責任を再認識いたしました。これからの町政においても、町の足元にある豊かさ・魅力に目を向け、着実な一歩を進めてまいります。

さて、社会では新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴う規制緩和を受け、いよいよ本格的に、アフターコロナの動きが加速しています。町内においても、町民の皆さまの生活もいろいろなところで日常が戻りつつあります。先日開催されました小・中学校の運動会では、保護者の人数制限も解除され、子どもたちはマスクを外し、久しぶりのにぎわいと笑顔あふれる運動会となりました。

一方で、福岡県コロナ感染者数が、5月15日から21日までの1医療機関当たりの平均患者数が3.09人と前週から微増傾向にあり、終息には至っていないのが現状です。本町では、65歳以上の方を対象に令和5年度春接種として引き続き、ワクチンの個別・集団接種を行い、感染予防に努めてまいります。そして、低迷していた国内景気については、改善傾向にあり、コロナ前の水準にまで持ち直しつつあると報道されています。しかしながら、長引く物価高騰により、町民の皆さまが景気

の回復を実感するには、まだ時間がかかる状況といえます。そのため、令和5年度当初予算に計上した農業支援・物価高騰対策や学校給食費助成事業などに組みながら、国が3月末に打ち出した電力・ガス・食糧費等価格高騰重点支援地方交付金等を活用し、効果的な事業展開を図ってまいります。また、アフターコロナの本格化は、目に見える変化だけではなく、人々の価値観や行動にも大きな影響をもたらしており、社会課題への対応を含め、行政へのニーズも多様化、複雑化してまいります。

先月、私が就任後初めてとなる地域懇談会を開催しました。各行政区長をはじめ、多くの皆さまのご協力により無事終了することができました。参加者の皆さまからは、身近な暮らしの話題だけではなく、町の未来に関する話題など、多くのご質問と貴重なご意見をいただきました。答えのない多くの難題に直面する現代、それを乗り越えていくための鍵はシンプルに、町民の皆さまお一人お一人と向き合い、皆さまの状況や思いを把握することにあります。そして、その実現に向けた解決をみんなで考え、住民サービスにつなげていくことが、今後の久山町の強みになり、付加価値となります。顔が見える関係、この距離感が他自治体にはない魅力になると確信しています。今後も、住民の皆さまとの対話を大切に、信頼・共感をされる町政運営を目指して邁進<sup>まいしん</sup>してまいります。

引き続き、議会の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今回、定例会に提案しますのは、人事案件および契約案件の全12議案でございます。

詳細につきましては、担当課長が議案説明会において説明を申し上げますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

令和5年6月2日

久山町長 西村 勝